

桑名市議会議長
佐藤 肇 様

第3班 班長
南澤 幸美 印

議会報告会実施結果報告書

開催日時	平成26年10月17日（金）18時30分～20時00分			
開催場所	市民会館 3階 大会議室			
出席議員	班長	南澤 幸美		
	司会	伊藤 真人	記録者 飯田 尚人・倉田 明子	
	飯田 一美（欠席）		石田 正子	倉本 崇弘
参加人数	10人			
議会報告の概要	○ 平成26年6・9月定例会の報告 ○ 平成25年度決算の審査及び結果報告 ○ 意見交換			
主な意見・要望	・財政指標を見ると財政は改善されているようだが、財源をどのように使うかが問題。 ・国民健康保険は、13億の基金を市民に戻してほしい。 ・ふるさと納税は出した人の思いが詰まっているので、使い道は十分に検討してもらいたい。 ・総合医療センターの開院が遅れることへの心配。 ・議員の報酬カットは、お金持ちしか議員になれない危険を含んでいるので反対。 ・議員は、30年後を考える力が必要。 ・土地開発公社が解散するそうだが、市民が辛い思いをしないようにしてもらいたい。 ・病院体制等、市民も一緒にしっかり考えましょう。			

議会報告会記録

【第3班】

(1 / 2)

開催日時	平成26年10月17日(金) 18時30分 ~ 20時00分	
開催場所	市民会館 3階 大会議室	
参加人数	10人	
議会報告に対する質疑応答	質 問	回 答
	・財政は健全化指標を見ると、改善されているように思う。問題は、財源をどのように使うかだ。	歳入から歳出を差し引くと黒字であり、健全化判断比率は基準内である。 自主財源は56.8%、依存財源は43.2%。半分以上は自前でまかなえている。
	・国民健康保険は13億の基金を市民に戻してほしい。	基金残高は12億7千万円ある。これはパンデミックに備えてのものだが、活用方法については、国保運営協議会にて検討中である。
	・資産割について	現在、4方式であるが、将来、3方式に調整されていくのではないかと考える。
	・ふるさと納税は、寄附とごっちゃになっている。1,200万円は、いくら集めるための予算か。	年間1億円と聞いている。寄附額の1/4の半分をあてる。特産品の中身に関しては、これから吟味すること。
	・1億円集める計画とのことだが、そのお金には出した人の思いが詰まっている。使い道は一般の税収と同じカテゴリーか。	寄附金は一般会計に繰り入れられると聞いている。使い道は検討中と聞いている。
	・市民病院の平成28年4月開院は遅れるのか。	一括発注で2回不成立だったので、分離発注で開院を目指している。 開院は、早くはならない。
	・分離発注とは。	建築は建築、電気は電気、機械設備は機械設備と分けて発注する方法のこと。

参加者からの 意見・要望等	(意見)
	・選挙前のチラシに「議員報酬カット」が否決されたと書いてあったが、選挙にはお金がかかる。報酬を下げればお金持ちか団体職員しか議員になれないと思う。
	【馬道駅から桑名高校に向かう途中の公園売却の件について】
	(意見)
	・地元説明会に呼んでもらえなかった。
	・公園は、中川市長の時にマンション建設の代償として造られた。ハウスメーカーに売られるのは納得できない。
	・総務省は、有効的に使用されているところは残し、使っていない土地を売るように言っているのに、桑名市は、売りやすいところから売っている。
	・4回に分け200余の署名を集め徹底的に闘い売却を半年延ばしたので満足はしている。
	(要望)
	・議員には30年後を考える力が必要。30年後、本当に困ったときに働いてくれる議員が必要と思う。 ⇒ (回答) 市民が困らないように声を上げていく役割を、議会が担う。
	(要望)
	・土地開発公社が解散するそうだが、辛い思いをする市民がいないように、ということを要望する。 ⇒ (回答) 土地開発公社は公社であるが、地域性を含め、しっかり監視していく。 ⇒ (回答) バブル期に高い金額で購入。清算の時期に来ている。市民の納得できる事業かどうか、話し合っていく。